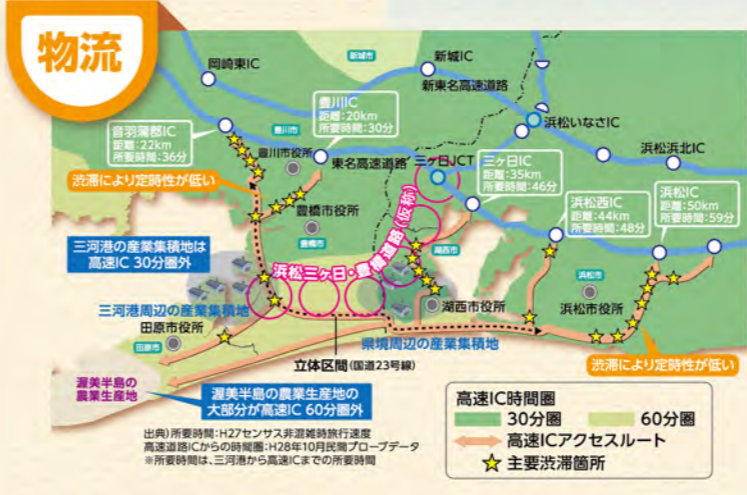


三遠地域の産業と物流



三遠地域の活性化への課題

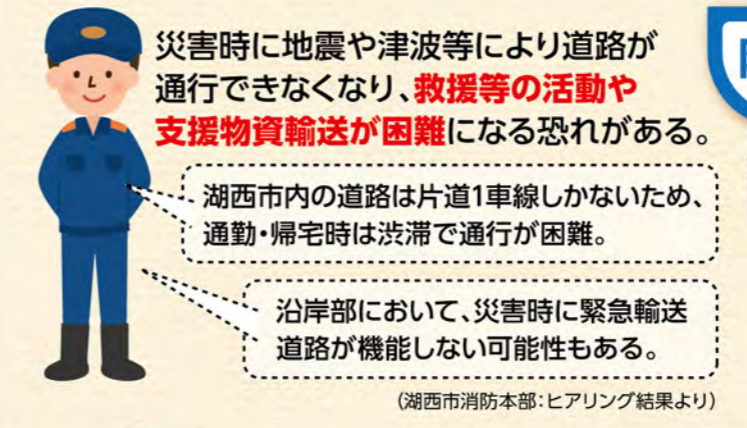


三河港から最寄りの高速ICまでが遠く、著しく時間を要するため**速達性が低く**、渋滞等により所要時間にバラツキがあり**定時性も低い**。

輸送時間は鮮度・商圏・商品価値に影響する。

現状の関東方面への輸送では、渥美半島から約70km離れた浜松ICまで一般道を利用しており、よく渋滞にも遭遇する。

(渥美半島の農協関係者：ヒアリング結果より)

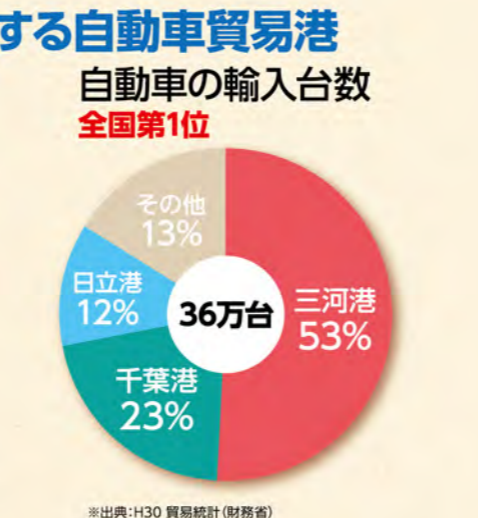
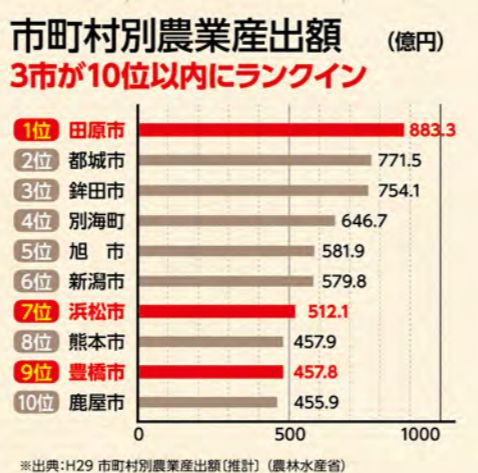
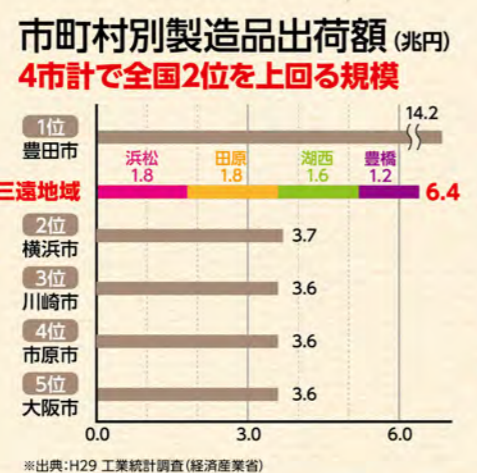


三遠地域は製造品・農産物の生産拠点が集積

三遠地域の製造品出荷額は、浜松市、田原市、湖西市、豊橋市とも1兆円を超えており、4市の合計で全国2位を上回る規模であり、わが国有数の製造品生産拠点の集積地となっています。

農業は、温暖な気候に恵まれ、露地野菜・施設園芸・果樹・畜産・花きなどバラエティに富んでいます。農業産出額は、田原市(全国第1位)・浜松市(全国第7位)・豊橋市(全国第9位)と3市が全国の10位以内となっています。

三遠地域は、自動車の輸入金額、台数とも26年連続全国1位の自動車貿易港である三河港を有しており、まさに日本経済の一翼を担っています。



主要な観光地間が離れており、特に豊橋・三河湾地域では約5割の施設が他のエリアから60分圏外となっていることから、**観光地間の連絡性・速達性が低い**。

観光時間のアクセス時間は最大でも1時間であり、これが実現すれば新城ICを起点に渥美半島にもストレスなく移動ができる。

(地域観光協議会：ヒアリング結果より)

